

☎問い合わせ先



今と違うから分かりませんでした。
宮本常一という人が撮影したんじゃない。宮本さんは、全国各地を調査して回った有名な民俗学者じゃよ。



▲三原駅のホームから撮影された三原城跡(周防大島町提供)



これはな、昭和30年ごろの三原城跡の写真じゃ。

●昔の情景 ● 民俗学者 宮本常一と三原



市民学芸員シリーズ



▲昭和51年ごろの三原駅(周防大島町提供)

民俗学ってなんですか？
民俗学は、人々の間で受け継がれてきた風習や生活様式、言語などを記録し、その移り変わりを明らかにする学問じゃよ。宮本さんは三原でも調査を行なっておって、『三原市史』という本を作ったときには、一部を書いてくれたんじゃない。



▲宮本常一さん

?? 市民学芸員クイズ ??

昭和50年ごろ、三原駅前の歩道には一本の大きな松がありました。当時、この松は何と呼ばれていたでしょうか。

- ①甚五郎松 ②鈴木方衛の松
- ③千代の松

：ヒントは、本文の中にあります。



登場キャラクター



タコ博士

年齢：88歳
性別：男性
三原のことを何でも知っているご隠居

アヤメちゃん

年齢：10歳
性別：女性
三原の自然や歴史が大好きな小学4年生

それはどういふ本ですか？
三原の土地や人、歴史についてまとめている本で、図書館でも読めるんじゃないよ。昔の三原の生活を知ることができるといいですね。
宮本さんの撮った写真は現在も残っておって、今年の1月にその写真を展示するパネル展が行われ、大盛況だったんじゃない。
おじいちゃんと言いました。おじいちゃん、なつかしいって言っていました。約40年前に撮影された、タコつばや神社、郵便局、漁港などの写真が並んでおったじゃろ。40年もたてばま

宮本さんは、当時の三原の魅力をたくさん記録してくれたのですね。



▲鈴木方衛の松(周防大島町提供)

ちの風景は変わるからう。駅前立つ1本の松の写真もありました。それは、鈴木方衛の松じゃな。昔、鈴木方衛という有能な武士が登ったと伝えられる松じゃよ。今はもう伐採されていないじゃが。

三原市の人口(4月30日現在)

世帯数	43,900 世帯 (+175)
人口	99,049 人 (-756)
男	47,350 人 (-256)
女	51,699 人 (-500)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

税などの納期(普通徴収)

○市県民税(第1期)
納期限 6月30日(月)
夜間収納窓口(19時まで)
5日(木)・12日(木)・19日(木)・26日(木)

航空機の騒音測定結果(4月分) (Lden)

▶正広局(本郷町善入寺正広)=49.3 ▶本郷局(本郷町船木川西上)=52.1

あ・と・が・き
みみのポイ捨て。1つでも落ちていいるごみがあると、人間の心理としてそこにポイ捨てしやすくなります。拾ったごみの量を競い合うスポーツGOMI拾いという競技を知っていますか。ルールは簡単、制限時間内により多くのごみを拾ったチームが優勝です。ごみが無いのが一番ですが、ユニークな取り組みですね。市の職員は、毎月2回、就業前に庁舎周辺のごみ拾いをしています。まちもきれいになり、清々しい気持ちになれるので、目を皿のようにしてごみを探しています(M)